

第3学年 英語科学習指導案

日 時 平成30年11月15日(木) 5校時

指導者 教諭 門前多恵子(T1) 教諭 澤里一志(T2)

対 象 3年A組 8名

1 単元名・教材名 Program8 Clean Energy Sources

2 指導計画

(1) 単元の目標

ア 積極的に自分の考えを相手に伝えたり、相手の考えや思いを聞いたりしようとしている。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

イ 再生可能エネルギーについて概要を読み取り、それについての自分の考えを伝えることができる。

【外国語表現の能力】

ウ 英文を読んだり、聞いたりして再生可能エネルギーの利点について理解することができる。

【外国語理解の能力】

エ 目的格の関係代名詞which / that の用法を理解し、正しく使うことができる。また、それを用いてクイズを出し合うことができる。

【言語や文化についての知識・理解】

(2) 指導計画(6時間)

時	指導目標	主な学習内容
1	目的格の関係代名詞 which を用いて「これは何？」クイズの問題を考えることができる。	目的格の関係代名詞 which を用いて「これは何か」をたずねるクイズを作成し出し合う。
2	本文の概要を読み、風力発電の効果について読み取ることができる。	関係代名詞を用いた英文を読み、風力発電の効果について読み取る。
3 本時	目的格の関係代名詞 that を用いて、自分の好きな人やものについて対話することができる。	「これは何(だれ)か」をたずねるクイズを出し合いながら、自分の好きな人やものについてペアで対話する。
4	本文の概要を読み、太陽光発電の用途や利点について読み取ることができる。	関係代名詞を用いた英文を読み、太陽光発電の用途や利点について読み取る。
5	目的格の関係代名詞は省略できることを理解し、クイズを出し合い、1分間のチャットをすることができる。	「これは何(だれ)か」をたずねるクイズを出し合い色々な人と対話する。
6	例文を参考にして、再生可能エネルギーについて自分の考えを書いて発表することができる。	例文を参考にして、再生可能エネルギーについての自分の考えを書く。

3 本時の指導

(1) 指導の手立て

前時の関係代名詞 **which** を用いた文を振り返らせたうえで、関係代名詞 **that** を使えば人についても説明できることを理解し、**that** を用いて自分の好きな人やものについての対話文を作成する。段階を追って対話をつなげる練習を重ねていくことで、技能の習得を図りたい。

(2) 本時の評価規準

観 点	おおむね満足できる	努力を要する生徒への手立て
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	積極的に自分の考えを相手に伝えたり、相手の考えを聞いたりしながら対話文を完成させようとしている。	自信を持って発音、音読、対話練習ができるように繰り返し練習させたり、英文のヒントを与えたりする。(T2)
外国語表現の能力	目的格の関係代名詞thatの用法を理解し、それらを用いて、クイズを出し合う対話をすることができる。	相手からの質問に反応できるように支援する(T2)

段階	学習活動	教師の支援及び留意点
導入 10分	<p>0 Warm-up</p> <p>(1) 前時に作った他の生徒の英文を聞き,それが何かを考える。 This is a tool which I use every day.</p> <p>(2) 教師が出した新しいクイズに答える。 This is an actor that I like the best.</p> <p>1 学習課題の把握</p> <p>自分や友だちが好きな人やものについて友だちと対話しよう</p> <p>2 本時の学習の流れを確認する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 何かわからないときは質問をして答えを引き出す。 関係代名詞が which から that に変わっていること, 先行詞がものから人に代わっていることに着目させる。 <p>課題解決のための見通しを生徒に持たせる。</p>
展開 35分	<p>3 学習課題解決の活動</p> <p>(1) 関係代名詞 that の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> that は先行詞が人・ものでも使えることを確認する。 意味を確認しながら音読練習する。 対話形式で練習する。 語句を入れ替えて対話する。 <p>(2) Pattern Practice</p> <ul style="list-style-type: none"> 答えを確認した後ですらすら言えるように練習する。 先行詞の種類を増やしながらか多様な表現を練習する。 <p>(3) Make a skit!</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の好きなものや人についての紹介する文を考える。 <p>(4) Let's chat! (1分×8回)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が考えた英文を使って対話をする。 ペアを変えながら繰り返し練習する。 与えられた時間の中で会話を続ける。 <p>4 Modeling</p> <p>A: This is a game that I like the best. Do you know what this is? B: Is it beyblade? A: That's right. Have you ever played beyblade that I like the best? B: Yes, I have. I like ~ the best, too. Let's play together. No, I haven't. A: Really? It's very interesting.</p>	<ul style="list-style-type: none"> that 以下が主語+動詞になっていることを確認させる。 ペアを変えながら練習量を確保する。 パワーポイントを使用し短時間で練習を行う。 スキット作りに使えるジャンルを取り上げ, イメージを膨らませる。 (actor/singer/food/hobby...) 基本の型を提示して下位の生徒も取り組めるようにする。 必要な生徒にヒントを与え英文が言えるように支援する。(T2) <p>練習した英文を参考に時間の中でできるだけたくさん対話を続けさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> うまくチャットが続いていた生徒を教師がピックアップして発表を促す。(学習内容の共有)
終末 5分	<p>5 学習の振り返り・まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の授業を通して学んだことを書く。 that を用いて自分の好きな人やものについて詳しく説明する英文を振り返りシートに記入する。 書いたことを発表する。 <p>6 次時の予告</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーについて考えることを確認する。 	<p>授業を通して学んだことを英文で書かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 12語以上で書くよう指示する。 時間が残ったら, 対話を続けて書くように指示する。 振り返りの共有をする。

(4) 板書計画

Thursday, November fifteenth, ()

今日の課題

自分や友だちが好きな人やものについて友だちと対話しよう

本時の流れ

- 1 Basic Dialog
- 2 Listen
- 3 Practice
- 4 Make a skit
- 5 Let's Chat
- 6 Writing(まとめ)

基本文 **What's (Who's) this?**

イラスト

イラスト

イラスト

This is an animal **that** we can see at Ueno Zoo.

(これは私たちが上野動物園で見ることができる動物です。)

This is a food **that** we usually put in miso soup.

(これは私たちが普段味噌汁に入れる食べ物です。)

This is a comedian **that** Ms. Kadomae likes the best now.

(この人は門前先生が今一番好きな芸人です。)

まとめ

関係代名詞 **that** は、先行詞が人・もの両方でつかうことができる